



# Sennan通信

No.007

泉南藤井病院の情報誌



## インスリン遺伝子のお話し: その2

～お母さん由来とお父さん由来のインスリンに違いはあるの?～

私たちの体の細胞には、遺伝子が入っています。遺伝子はお母さんとお父さんから半分ずつ受け継がれます。インスリンを作るための「インスリン遺伝子」も同じです。私たちは通常、お母さん由来のインスリン遺伝子と、お父さん由来のインスリン遺伝子を1つずつ持っています。

では、どちらの遺伝子が実際に働いているのでしょうか。

現在の研究では、インスリン遺伝子は基本的にお母さん由来とお父さん由来の両方が働いていると考えられています。そのため、膵臓のβ細胞では両方の遺伝子からインスリンが作られます。しかし、作られたインスリンそのものを見て、「これはお母さん由来」「これはお父さん由来」と区別することは、通常はできません。

なぜなら、お母さん由来の遺伝子から作られたインスリンもお父さん由来の遺伝子から作られたインスリンも、アミノ酸の並びが同じで、全く同じ分子だからです。

ただし、遺伝子は配列に違いがあることが多く、研究室で特殊な遺伝子解析を行うことで、どちらの親から受け継いだ遺伝子なのかを調べられることがあります。

私たちの体は、両親から受け継いだ遺伝子を協力して働かせながら、血糖値を調節しているのです。

つづく...

特任院長 宮野 元成

## 健康だより

ようやく梅雨が明け、本格的に暑くなってきましたが、皆さま体調は大丈夫でしょうか。

当院でも熱中症の患者さんが増えています。特に高齢者の方は、暑さに対する感覚や体温を下げるための体の反応が弱くなっていて、自覚がなくても熱中症になる危険があります。

部屋の温度が上がったら我慢せずにエアコンをつけましょう。

猛暑の夏ですが、エアコンを適切に使用して乗り切りましょう！

透析室 西出 るみ子

泉南藤井病院

072-464-6466



糖尿病教室

7月4日 (土)

14:00～15:00

7月25日 (土)

14:00～15:00

外来待合室

訪問診療について

通院が難しい方のために医師がご自宅へ伺い、診療をいたします。訪問看護では、看護師がご自宅に伺い、療養生活のサポートを致します。お気軽にご相談ください。